

## 1 対象設備

検査証No.	名称	種類	最高使用 圧力kg/cm <sup>2</sup>	伝熱面積 (容積) m <sup>2</sup>	有効期限	検査予定日
1 1 3 2	ボイラ 1 号 (エネルギー棟)	炉筒煙管式	1 0	38.80	R4.12.15	
1 1 3 3	ボイラ 2 号 (エネルギー棟)	炉筒煙管式	1 0	38.80	R4.12.15	
5 4 3	熱交換器 (エネルギー棟)	シェルチューブ	1 0	0.123	R4.12.15	
5 4 0	貯湯槽 1 号 (エネルギー棟)		5	3.217	R4.12.15	
5 4 1	貯湯槽 2 号 (エネルギー棟)		5	3.217	R4.12.15	
5 4 2	フラッシュタンク (エネルギー棟)	蒸気還水用	1 0	0.222	R4.12.15	
3 8 6	貯湯槽 1 号 (治療棟)		5	2.147	R4.10.31	
3 8 5	貯湯槽 2 号 (治療棟)		5	2.147	R4.10.31	
4 9 9	貯湯槽 (A病棟)		7	5.198	R4.11.15	

## 2 実施基準

ボイラ及び圧力容器安全規則に基づき行うこと。

## 3 実施方法

## (1) ボイラ

- ア 本体：清掃、水圧試験、安全弁試験、主蒸気止め弁、圧力計及び流量計の点検
- イ バーナー：分解、清掃、点検及び整備
- ウ 通風装置：伝動装置、軸受及びバランス
- エ 煙道：清掃及び点検
- オ 連続ブロー装置：清掃、水圧試験、安全弁試験、圧力計及び流量計の点検
- カ 自動制御その他：操作盤の点検、給水装置の点検、感震器及びばい煙濃度計の点検ほか

## (2) 熱交換器、貯湯槽

- ア 本体：清掃及び点検
- イ 計器：点検、安全弁試験及び分解清掃
- ウ 制御装置：点検、清掃及び調整

## (3) 滅菌器

- ア 本体：清掃、点検、安全弁試験、ドアロック点検調整、ドアパッキン及びエアフィルター交換
- イ 計器：点検及び調整

ウ 制御装置：点検、清掃及び調整

(4) その他

ア 第1種圧力容器のうち、甲が指定した2台について、チューブの引出し及び整備を行うこと。

イ ボイラの燃焼調整を、性能検査後に行うこと。

ウ 還水槽の清掃を、年2回開放して行うこと。

エ 終了後、速やかに報告書を提出すること。

4 性能検査

(1) 性能検査は、甲が指定した「検査代行機関」にて行うものとし、検査日は甲の指定した日時とする。

(2) ボイラ及び圧力容器の性能検査前作業については、検査日時前に終了し、検査において支障の無いようにすること。

(3) ボイラ性能検査前作業等の清缶作業は、甲の指定した業者とする。

(4) エネルギー棟と治療棟の貯湯槽については、テフロンパッキンを使用すること。

(5) A病棟の温水ボイラのマグネシウム棒及び治療棟のアノードを交換すること。

5 大気汚染防止法に基づくばい煙測定

(1) エネルギー棟のボイラ等について、甲の指示するときに年2回行う。

(2) 測定内容は、ばいじん、硫黄酸化物、窒素酸化物等とする。

6 負担区分

(1) この業務に使用する工具、測定機器、パッキン等の消耗品、性能検査前作業料金、及びばい煙測定料金は、乙の負担とする。性能検査手数料金は甲が負担し、検査に係る事務手続きは乙が行うものとする。また、滅菌器の性能検査前作業料金は、甲の負担とする。

(2) この業務に使用する電気、ガス、水道及び燃料は、甲の負担とする。